

ずし市議会だより

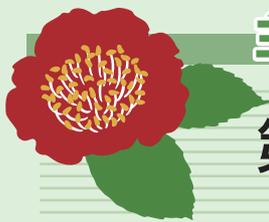
2020年 ◆ 9月1日

152号



お猿島の大切岸 (逗子フォトより)

主な項目



第2回定例会 (6月9日～24日)

- 議案の審議結果 2… 3 ページ
- 今定例会で可決した意見書 4… 5 ページ
- 一般質問 (13人登壇) 6…12ページ
- 令和元年度議長交際費・政務活動費報告 13ページ

第2回臨時会 (5月14日・15日)

- 議案の審議結果 14…15ページ

第2回定例会 (6月9日~24日)

一般会計補正予算など9議案を可決 13人の議員が市政一般について質す

今定例会の概要

令和2年市議会第2回定例会は、6月9日から24日までの16日間の会期で開会しました。この定例会では、新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマンナの向上に関する条例の制定のほか、避難所での新型コロナウイルス感染症等の感染予防策として災害対策事業の増額などを内容とする一般会計補正予算(第3号)、情報公開審査委員及び個人情報保護委員の委嘱など市長提出の9議案のほか、陳情6件の審議が行われ、審議の結果、議案9件を原案どおり可決・承認・同意し、陳情2件を了承、4件を不了承としました。また、6月22日、23日、24日の3日間、市政一般について13人の議員が一般質問を行いました。このほかに、議員発議による意見書案4件を可決し、閉会しました。

議案の審議結果

▼専決処分の承認について…

承認(全員賛成)

国民健康保険条例の一部を改正する条例は、国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る保険料を減免する市町村に対し、減免に要する費用全額について国が特例的な財政支援を行うことを受け、被保険者支援の観点から減免の特例に関する規定を整備するに当たり、改正することに緊急を要し専決処分を行ったため、議

会の承認を求めたものです。

▼工事請負契約の締結について…原案可決(全員賛成)

逗子市防災行政無線デジタル化整備工事について、株式会社日立国際電気と契約金額3億3909万2661円で契約を締結するに当たり、議

会の承認を求めたものです。

▼介護保険条例の一部改正について…原案可決(全員賛成)

介護保険において、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る介護保険料を減免する市町村に対し、減免の費用全額について国が特例的な財

政支援を行うことを受け、被保険者支援の観点から減免の特例に関する規定を整備するに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼令和2年度一般会計補正予算(第3号)…原案可決(全員賛成)

今回の補正は、避難所での新型コロナウイルス感染症等の感染予防策として、災害避難所用間仕切り、防護服など資器材の充実を図るための経費として、災害対策事業3193万6000円、子ども・子育て支援施設等での新型コロナウイルス感染症のまん延防止のために必要な物資の購

入に伴う子育て支援事務費1249万9000円をそれぞれ増額し、元気な高齢者を増やそうプロジェクトの取組みとして高齢者の健康づくりのイベント開催等の経費として、運動・スポーツ習慣化促進事業416万9000円、逗子小学校用地として借用する土地の一部の購入に要する経費として、用地購入費5800万円をそれぞれ計上するなど、歳出の合計は2億3400万4000円の増額となり、これに見合う歳入は国庫支出金、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入及び市債を増額し、県支出金を減額して措置するもので、これにより予算現額は261億8598万5000円となります。

▼消防団員等公務災害補償条例の一部改正について…原案可決(全員賛成)

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い、障害補償年金前払一時金等が支給された場合の障害補償年金等の支給停止期間の算定に用いる利率について、改正の必要があるため提案されたものです。

市議会第2回定例会日程概要

- 6月 4日 議会運営委員会（議事日程等協議）
- 9日 本会議（第1日）会期を6月24日までの16日間と決定、一部議案の採決、議案等委員会付託
議会運営委員会（陳情の審査・採決）
- 10日 教育民生常任委員会（議案・陳情の審査・採決）
- 11日 総務常任委員会（議案・陳情の審査・採決）
- 12日 基地対策特別委員会（調査）
- 15日 総合的の病院に関する特別委員会（陳情の審査・採決、調査）
- 19日 議会運営委員会（追加案件協議）
- 22日 本会議（第2日）議案の委員長報告・採決、陳情審査の結果報告、一般質問
- 23日 本会議（第3日）一般質問
- 24日 本会議（第4日）一般質問、追加議案・意見書案の採決、結論が出なかった陳情の閉会中継続審査了承

▼新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する条例の制定について…原案可決（全員賛成）

新型コロナウイルス感染症の影響により、夏期に逗子海水浴場が開設されない状況下において、海水浴場開設時に適用される安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例と同等程度に、事業者や利用者のマナーの向上を図るために必要な事項を規定するに当たり、制定の必要があるため

提案されたものです。
▼令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）…原案可決（全員賛成）

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、介護予防の通いの場が活動自粛をしていることから、健康維持に必要な情報を広報するための経費として、一般管理事務費90万円を増額し、これに見合う歳入は国庫支出金等を増額して措置するものでこれにより予算現額は73億5070万円となります。

人事案件

- ▼情報公開審査委員の委嘱について…同意（全員賛成）
氏名 前田 康行氏〔再任〕
任期 3年
- ▼個人情報保護委員の委嘱について…同意（全員賛成）
氏名 前田 康行氏〔再任〕
任期 3年

報告事項

▼予算の繰越しについて（繰越明許費）

令和元年度一般会計予算のうち、繰越明許費の設定をした放課後児童クラブ事業ほか6事業を、令和2年度に予算を繰り越したことについて、報告されたものです。

▼土地開発公社の経営状況の報告について

土地開発公社における令和元年度の事業報告及び決算についての報告並びに令和2年度の事業計画、予算及び資金計画について、報告されたものです。



提出された陳情の要旨・審査結果

▼教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2021年度政府予算についての陳情

賛成多数で了承されました。
▼学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に向けた財政支援の拡充に関する陳情

三浦半島地区教職員組合執行委員長 明口祥幸さんから提出されたもので、義務教育費国庫負担制度は国負担割合が3分の1に引き下げられ、自治体負担が引き上げられた。その結果、自治体の財政を圧迫し、教育条件の格差も生じている。豊かな子供たちの学びを保障するための条件整備は不可欠であり、来年度政府予算編成において、子供たちの教育環境改善のために計画的な教職員定数改善を推進し、また、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元することが実現されるよう、国の関係機関に対して意見書を提出することを切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成多数で了承されました。

▼逗子市が前逗子市長を公務員職権濫用罪及び業務妨害罪その他の違反で告発する決議に関する陳情

医療法人社団則天会理事長 田宮秀次郎さんから提出されたもので、市民の信任を仰ぐ市長選挙が迫っていた平成30年11月1日に、前市長が医療法人社団葵会と覚書を交わしたことは市民を欺く行為であり、市に対し、前逗子市長を公務員職権濫用罪及び業務妨害罪その他の違反で告発するよう決議することを切望する、というものです。

この陳情は、総合的病院に関する特別委員会に付託。審査の結果、賛成なしで不了承となりました。

▼「報酬審議会へ諮問を求め決議」に対する陳情

工藤純一さんから提出されたもので、令和2年第1回定例会において逗子市特別職員報酬等審議会条例の規定に基づき、市長から審議会へ諮問を求める決議案を可決しているが、逗子市議会基本条例第22条第3項で議員定数及び議員報酬の条例改正は原則として委員会又は議員が改正理由の説明をしなければならな

いと定められており、報酬審議会へ諮問を求める決議をしたことにおいて、市民に対する理由の説明がなされていないので陳情する、というものです。

この陳情は、議会運営委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不了承となりました。

▼別居・離婚後の「親子交流」という表現を「親子交流」へ名称変更することを求める意見書の提出を求める陳情

佐藤創さんから提出されたもので、面会交流という表現は、親子の交流を表現するに不適切であると考え、子供も理解できるように、親子交流への名称変更を行うよう、国に対する意見書の提出を切望する、というものです。

この陳情は、総務常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不了承となりました。

▼新型コロナウイルス感染症拡大に際し第一線の医療提供体制堅持を求めることに関する陳情

神奈川県保険医協会代表者 田辺由紀夫さんから提出されたもので、患者・住民の健康を守るため、流行期及びアフターコロナ下の第一線の医療提供体制の堅持が求められており、医療機関に対する支援を強めるため、地域住民のセーフティネットである第一線医療の医療崩壊を起ささないよう、医療機関への支援策を充実し迅速に対応すること。具体的には、国の緊急経済対策として計上された新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金、募金等の活用により、①休業医療機関及び経営困難医療機関への支援金制度②発熱外来を行う診療所への経済支援、感染対策強化にかかる費用助成制度③医療機関のテナント料支払いにかかる家賃補助制度④減収15%未満のセーフティネット保証5号における信用保証料全額補助や利子補給による実質無利子化について、支援策の創設を検討すること。以上のとおり切望する、というものです。

この陳情は教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不了承となりました。



今定例会で可決した意見書を関係機関に送付しました

夏期の逗子海岸の安全確保と新型コロナウイルス感染症対策を求める意見書

逗子市は、新型コロナウイルス感染症対策として、逗子海岸への来訪を控えることを呼びかけるとともに、警備員を配置し対策に取り組んできた。

海水浴シーズンを目前にして、神奈川県は感染症拡大防止を目的に海水浴場等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドラインを策定、その結果、夏期について、県内全ての市町村は海水浴場の不設置を決めた。しかし、各海水浴場が開設されなければ、海水浴場のルールもなくなり、無法地帯になる恐れもある。神奈川県は、海岸管理者であり、遊泳も含めて安全確保を図るべき立場である。ところが、県は遊泳監視業務や警備体制もとらず、地元自治体任せとなっていることから、逗子市は、新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する

条例を制定し、夏期の逗子海岸の安全確保に向けたライフガードの配置とマナーアップ警備体制を継続して実施することを決めている。

よって、逗子市議会は、神奈川県に対し、新型コロナウイルス感染症対策として、県の責任のもとで、速やかに逗子海岸を含めた県内海岸の安全確保を目指し、警備体制などの予算確保も行ない、地元自治体への財政支援を実施するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月24日

逗子市議会

今定例会で可決した意見書を関係機関に送付しました

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を図るための2021年度政府予算についての意見書

小学校においては、2020年度から学習指導要領の改訂にともなう教育課程が実施され、外国語活動や外国語科の導入にあたり、外国語にかかわる教育実施のための授業時数の調整や、教材の作成などの対応に苦慮する状況となっている。また、障がいのある子供たちへの合理的配慮、外国につながる子供たちへの支援、いじめや不登校など、学校に求められる役割は拡大し、学校が抱える課題が、より複雑化、困難化している。そのような状況の中、2019年12月に公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律が成立、公布されるなど、教職員の長時間労働是正の手立てが講じられつつあるが、根本的な解決策とはなっていない。この課題を解決し、一人ひとりの子供に豊かな教育による学びと育ちを保障するためには、少人数教育の推進を含む抜本的な定数改善と人的配置の拡大が不可欠である。

しかしながら、安定した教育活動を全国的に保障するための義務教育費国庫負担制度については、国庫負担割合が3分の1に引き下げられ、自治体の負担が引

き上げられた。その結果、自治体財政を圧迫するとともに、非正規教職員の増大等、教育条件格差も生じている。子供たちが、全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請のほずであり、国の施策として財源保障が必要と考える。

よって、豊かな子供たちの学びを保障するための条件整備は不可欠であることから、逗子市議会は国に対し、2021年度政府予算編成において、次の事項が実現されるよう要望する。

- 1 子供たちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月24日

逗子市議会

学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に 向けた財政支援の拡充に関する意見書

2020年2月27日の臨時休業要請や新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、休業等における学習機会の保障や心のケア等、子供たちへの支援や再開に向けた学校教育の在り方について、目まぐるしく状況は変化している。再開後の学校は、文部科学省通知の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等についてなどに示されているとおり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子供一人ひとりに今まで以上に寄り添うきめ細やかな指導を行う必要があるが、現在の学校体制では、充分に対応することは困難である。

既に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等により、未指導分の補習等のための学習指導員の配置や、GIGAスクール構想の前倒しが進められているが、学校での感染拡大を防止し、学びの質を保障するためには少人数指導の導入等が求められており、そのための大胆な教員の加配措置が必要である。また、感染防止対策などの追加的業務に対応するための人的配置の拡充も欠かせない。そして、感染防止対策にかかわるマスク、消毒液や指導上必要な備品等の購入が

更に増えることが想定される。

GIGAスクール構想も端末配置といった導入予算だけでなく、機材のメンテナンス、教材開発にかかわる人的配置等、運用上必要とされる予算確保も同時に進められることが、効果的な活用には不可欠である。前例がない緊急事態の中で、学校が子供たちや保護者の不安に向き合うとともに、社会総がかりで子供たちの豊かな学びの支援を継続して行う必要がある。

よって、逗子市議会は国に対し、次の事項が実現されるよう要望する。

- 1 子供の命と心のケアを含む心身の健康保持及び豊かな学びの保障に向け、きめ細やかな支援や配慮のための人的配置を拡充すること。
- 2 いかなる状況の中でも学びの継続を保障するため、必要な環境整備を国の財源で速やかに行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月24日

逗子市議会

在日米軍基地の新型コロナウイルス感染症に係る感染者 情報公表と感染防止対策の強化を求める意見書

全国に新型コロナウイルス感染症が拡大する中、逗子市においては市民の協力で、生命と健康を守る感染防止策に取り組み、現時点で感染者は3名にとどまっている。また、池子米軍家族住宅地区には3,000人を超える米軍関係者が居住し、これまでに感染者2名が発生し、公表されている。在日米軍基地に関わる感染症対策は、日米合同委員会に基づき、ある程度の情報共有が図られているが、個別事例の公表はしない方針となっている。しかし、米軍基地内の感染が、基地周

辺に影響を及ぼす可能性があることは間違いない。

よって、逗子市議会は、国に対し、在日米軍基地の感染状況について、情報を積極的に公表し、防疫措置と感染防止策の強化を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月24日

逗子市議会



新型コロナウイルス対策は 市民に寄り添った対応を!!

立憲クラブ 加藤 秀子 議員

6億円基金設置で 生活困窮者対策を!

問 外出自粛制限の影響は計り知れず、自営業、ひとり親家庭やアルバイトで生計を担う学生など生活困窮者に対する国の支援事業だけでは足りず、市は6億円の基金を設置したが、ひとり親家庭の対象外だった方に届いてない事例もあり、しっかりと広報すべきではないか。更に来るべき第2波に對しどのような

対策を取っていくのか。経営企画部長 神奈川県が外出の自粛要請など、第2波に備えた警戒アラートを発動した際には、本市もこの動きに連携し広報も言え、必要な施策をしっかりと行っていく。

オンライン教育を 早急にできる体制を!

問 新型コロナウイルス感染症防止のための休業期間中に、オンデマンド教材を用いて家庭学習を行った学校もあれば、プリントだけの課題学習で終わってしまった学校もある。なぜしっかりと対応ができなかったのか。教育長 オンライン教育について、各学校や学年専用のホームページを充実させ、学校のメッセージや学習課題の発信に努めてきたが、今回、eラーニングの学習を行った

問 愛川町がボックスラウンジをやめ、今年の9月から親子方式による食缶方式へ変更する。本市が問題とするエレベーターの使用もない。愛川町でできて、本市でできないのはなぜか。

市長 本市は古い建物の中学校があり、費用の面からもエレベーター設置は反対である。食缶方式が可能なら、試験的に行うのも一つではないかと思う。

のID、パスワードの

タイムラグが生じたこと、一方でネット回線速度が遅かったことなどが原因と思われる。

温かい給食実現のため
食缶方式早期切替へ

※この他に、テレワーク・ワーケーション推進、災害対策、通学路における安全確保についての質問がありました。



市内設置された「PCR検査場」

の質問がありました。

の質問がありました。



逗子海岸の崖に違法建築物か 市と県の行政指導の徹底求め

日本共産党逗子市議会議員団 岩室 年治 議員

海岸の景勝地の保全 議会決議と念書守れ

問 134号線、湘南道路沿いに建築されたドライブインは、これまで市議会において決議が可決されるなど計画見直しを求めてきたが、その後、建築は進んだ。現状では当初の建築計画にない掘削いと工作物、更に崖に沿った部分に建築物が見られる。県と市はこの間、どのような行政指導を行ってきたのか。

市長 この施設は開設以来、違法性が疑われる建築物の増築などがあるため、神奈川県横須賀土木事務所と連携し、撤去若しくは是正するよう指導を続けてきたが、完全に是正されていない。改めて指導をしていく。

小中の夏休み16日間 プール無料券発行を

問 コロナ対策のため、水泳学習をはじめ、様々な学校行事が中止になっており、夏休み期間も16日間に短縮された。今年度も公営プールを開設し、児童生徒への無料券を発行してはどうか。

市長 今夏、第一運動公園プールと小坪飯島公園プールを休場とするが、子どもたちの健康、体力向上のため、市内在住の小中学生を対象に8月1日から16日まで、グループ分けや人数制限を行いました。

無料を利用できるように第一運動公園を開場する。

問 昨年、文部科学省から通知が出され、未納金の催促等も含めた学校給食費等の徴収管理について、学校・教師の本来的な業務ではなく、地方公共団体が担うべきと公会計導入を促している。教員の長時間勤務の改善策になりうる公会計制度の導入について伺う。

教育長 給食費のみの公会計化が教員の負担軽減につながるのには検討の余地があるが、基本的には公会計制度への移行は望ましいと考えている。

※この他に、池子米軍基地問題、逗子海岸の安全確保、学校内の寄付・募金についての質問がありました。



崖部分の工作物

崖部分の工作物

崖部分の工作物



市全体が一丸となり新型コロナウイルス感染症防止が重要!!

自民党逗子市議団 佐藤 恵子 議員

今夏の逗子海岸問題を どう乗り切るか!!

問 今定例会で、新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する条例を全会一致で可決したが、条例ができてても本市に権限がなくお願いしかできないのであれば、無法地帯化してしまう。海岸マナーの維持・向上をどのように進めていくのか。

新たな避難所の構築で安心安全な対策を

問 災害時の避難所開設の際、密閉・密集・密接の3密にならず、自分だけでなく相手への感染を防ぐために、ソーシャルディスタンスを鑑みての防災対策にすべきだ。避難所をどのように開設するのか。

市長 神奈川県から示された、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営ガイドラインに基づき、事前の準備や開設時の対応・運営を見直ししていく。今回の補正予算



緊急事態宣言時の逗子海岸の様子

に、小中学校の体育館に設置する飛沫感染防止の問仕切り、防護服、ゴーグル、マスク、消毒液など、感染症対策用の備品等を予算計上した。

早急なオンライン教育が小中学校に必要

問 コロナウイルス感染症拡大のため、小中学校の授業は遅れ、いつ第2波、第3波が来るかわからない状況である。オンライン教育の取り組みについて伺う。

教育長 事が起きてから動くのではなく、事が起きる前に準備するよう、各学校に話をしている。情報端末の整備前に臨時休業になっても、教職員と子どもたちの双方のやり取りやメッセージ動画をアップすることができると、ソフト面の準備を進めているところである。



地方創生臨時交付金の活用で追加対策を急げ

公明党 田中 英一郎 議員

特別定額給付金の支給救済措置が必要

問 特別定額給付金の基準日を令和2年4月27日としているが、緊急事態宣言が5月25日に解除され、学校も含め6月1日から大体、通常の生活に戻ったこと、更に子育て支援の意味からも、この支給金と同額の支給を5月31日まで行うべきではないか。

市長 この給付金と同等のものについて検討したが、実際、どこまでいっても基準日後に生まれる子がいて区切りがないので、不公平感は拭えず、国の基準日とした。

プレミアム商品券の発行で消費喚起を

問 国の2次補正予算の地方創生臨時交付金は、1次補正予算に加え、地域の実情に応じた取り組みが期待されている。特

に打撃を受けた飲食業や物販の事業主への支援として、割増率を高くしたプレミアム商品券等を実施してはどうか。

市長 新型コロナウイルス感染症の終息は読み切れず、第2波、第3波にも対処していかなければならない。今後の推移を見極めながら施策を講じていくが、プレミアム商品券は、事業者にとつて元気になる施策であり、市民の方には給付金のよ

うな意味合いがある。こうした両者にプラスになるものを検討していく。

コロナ禍をチャンスにしてまちづくりを

問 新型コロナウイルスが猛威を振るう中、テレワーク等が広がり、緊急事態宣言解除後も一定の割合の人が通勤せず、自宅で仕事をしている。市長はテレワークの推進、



より相談しやすい体制に (令和2年5月1日)



自民党逗子市議員 菊池 俊一 議員

どうなる今夏の逗子海岸！ 海岸議員として問題提起する

市外の方、逗子海岸に
来ないで！

問 今夏、本市は新型コロナウィルス感染症の影響により海水浴場を開設せず、新たに、逗子海岸のマナーの向上に関する条例を制定した。今年の逗子海岸をどうしたいのか、逗子市民、市外の方へのメッセージについて伺う。

関係団体や関係機関などの協力により、海岸の安全を確保する。更に今年の夏は逗子海岸への来訪を控え、市民が海岸を利用する際もルールを守り、できるだけ短時間での利用をお願いする。

修学旅行・林間学校 が中止。代替案は？

問 小学校の運動会、修学旅行などを中止することは苦渋の決断であったと思うが、中止に至った経緯と現在検討中の代替案について伺う。

教育長 運動会は不特定多数の方が来場され、感染防止対策を講じることが難しく、また修学旅行は感染リスクを避けられない活動が多く、旅先で感染者が出る可能性も否定できないことから、各学校で中止の判断をした。準備等のための時間を捻出することが難しい



マリンスポーツ等進入制限区域ブイ設置作業

が、対策を十分に講じた上での代替イベントを各学校で検討している。

葵会・総合的病院開設 に全力で取り組み！

問 2月13日の三浦半島地区保健医療福祉推進会議で、基準病床数123床の上積みがなくなり、2022年度中の葵会による総合的病院開設は極めて困難になった。現在の進捗状況は、今後どのように取り組むのか。

市長 葵会の担当者から病床数の確保が難しい旨理事長に報告されており、コロナウィルスの状況が落ち着いたところで再度確認し、本市に連絡をいただき予定である。改めて葵会と連絡を取り、協議を行っていく。

※この他に、新型コロナウィルス対策についての質問がありました。



真・無所属の会 飯山 圭一 議員

新型コロナウィルスとどう 向き合って生活してゆくの か

平成26年に策定した 行動計画の見直しを

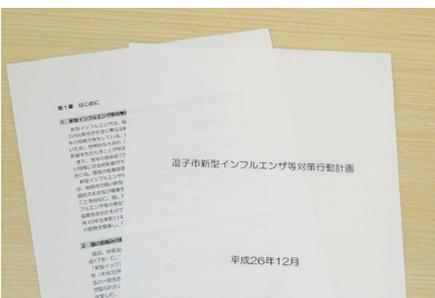
問 本市は、平成26年に逗子市新型コロナウィルス等対策行動計画を策定し、今回、一連の新型コロナウィルスへの対応を行ったが、この計画はきちんと機能していたのか。第2波等に備え、改善すべきポイントはないのか。

市長 この行動計画には、感染症の未発生期から小康期、そして感染症

の流行の程度に分け本市が取り組むべき対策が示されており、今回、本計画に基づき、対策本部の設置、情報提供、まん延防止に関する処置等の対策を実施した。今後、市の対応を検証し、改善点等があれば、確認をしていく。

商業の復興について

問 市の単独事業として、国の持続化給付金への上積みとして10万円の支給、県のウィルス拡散防止協力金への上積みとして20万円を支給することを早期に決めた市長の判断は高く評価するが、欲を言えば、継続的に事業者の方たちが利益を得られる仕組みがあれば理想的だと思うが、どのように考えるか。



第2波等に備え、
適切な変更を

市民協働部長 今、顧客の方が一番に望んでいることは安心・安全であること、更に別冊広報すし等で情報提供をしたこと

コロナ対策に取り組む 庁内体制について

問 新型コロナウィルスに対応するために特別な体制で臨んだ結果、市役所から感染者を出すことなく、特別給付金等迅速に取り組むことができたが、勤務職員の削減などにより、市民が不便を感じることはなかったのか。

総務部長 職員体制を縮小し、昼の窓口も閉めさせていたのだが、緊急非常事態宣言が出ていること、更に別冊広報すし

等で情報提供をしたこと、ご理解をいただいたものと感じている。



コロナウイルス対策の強化と迅速な対応で市民生活を守れ

自民党逗子市議員 八木野 太郎 議員

市長のコロナ対策への意気込みを問う！

問 本市は、いち早く新型コロナ型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、更に特別定額給付金の対応、次亜塩素酸水の無料配布の実施など、総じて迅速な対応をとってきた。市長は常々、現場第一主義、ピンチをチャンスにという

が、改めて考えを伺う。市長 全て施策は後手に回ってはいけない。後手に回ると、混乱に対する処理、プラス改善のための次の一手と、二重に人手が割かれる。先手を打つならば、余裕をもって次が考えられる。ただ行き過ぎは逆の場合もあり、一歩先、半歩先をいかに打てるかである。

海岸条例の徹底執行で逗子海岸を守れ！
問 今定例会で可決された海岸条例施行後、マナ

ー警備員や警察官同行のパトロール、巡回指導が実施されるが、これで海岸及び周辺地域の安全対策が守られるのか。

市長 新条例の制定だけで、安全がきちんと担保されるとは思わない。地域の皆様や来訪者の理解のもと、いかにしてそれを徹底して進めるか、今後の対策を考えていきたい。

今こそ思いやりの心を育む道徳教育を！
問 今回のコロナ禍での休校や自粛で、人を思いやる心や絆の大切さを身をもって感じた。人を思いやる心を育むことこそ、まさに道徳教育の真髓である。このような状況下での道徳教育の在り方について、どのように考えるのか。

教育長 ご指摘のとおり相手への思いやり、絆、

医療従事者の方々への尊敬の念も大切である。今の自分はいろいろな人の関わりの中で成り立っており、感謝の気持ちがないければならない。人との関わり、心と心がつながる道徳教育を学校で推進していくべきである。

※この他に、財政再建とまちづくり、ふるさと納税、株式会社パブリックサービスについての質問がありました。



市民の生命に関わる情報は迅速かつ分かり易く！



移住促進は今が好機。補助金と気を抜かず、効果の検証を

無党派 根本 祥子 議員

移住促進事業の効果は転入超過数で測れ

問 移住促進事業は今が本場にチャンス、いいタイミングで事業を軌道に乗せることができると思いますが、全額補助金であり、またイベント的要素が強いため、事業効果の検証を怠ってしまうリスクがある。単なるイベントの盛り上がりではなく、転入超過数で費用対効果を測るべきではないか。

経営企画部担当部長 長いスパンで事業を捉えており、効果検証が難しい。具体的な目標値を立てづらく、まち・ひと・しごと総合戦略での人口増加を目指していきたい。

市の貯金6億取崩し。再び積立てを急げ
問 コロナウイルス感染症対策のため、先の臨時会で財政調整基金6億円を取崩し、対策基金を設

置した。財政の安定化に一般会計規模の1割程度の基金残高が必要と繰り返して述べてきたが、これ以上の取り崩しには心配な面がある。改めて、基金に対する考え方、残高の積み増しについて伺う。市長 不測の事態に対して耐え得る市の財力からして、一般会計の10から15%が必要であると考え

るが、一遍に到達できることではなく、毎年の積み重ねにより、目標額に向け努力していく。

度重なる休校、学習指導要領の影響は？
問 去る5月15日、文部科学省から、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における学びの保障の方向性等について、

通知が出された。本市において、この通知にある学習指導要領の網羅を

マンガで学ぶ「一緒に学ぼう！池子の森」が刷新



マンガで学ぶ「一緒に学ぼう！池子の森」が刷新



これからが本当の意味での「逗子市民力」の発揮しどころ

自民党逗子市議員 眞下 政次 議員

災害に備え、市民の生命・財産を守る

問 池子2丁目地内の崖崩れ事故発生後、市は調査を行い、対策が必要な20か所のうち、市有地7か所、民有地が13か所とのことだが、令和2年度の厳しい財政の中で、どのように対応するのか。

また、民有地の所有者に対する注意喚起が必要ではないか。

市長 市有地は、順次、予算措置をし、対応していく。民有地については土地の所有者に状況を伝え、助成制度等のご案内をしたが、崖地の工事費が高額であるので、更に助成制度の拡充を検討していきたい。

この夏の逗子海岸はどうなるのか？

問 逗子海岸に来ないのが一番いいが、来場者に対しては、海岸の放送設

備を使用し、2時間過ぎたら帰りましょう、あるいは密になるような行動、飲酒等は慎んでくださいと常に放送し、居心地の悪い状況をつくるのも一案だと思っがどうか。

市長 放送を使った注意喚起は有効な方法であり海岸中央公衆トイレに設置してある放送設備や防災行政無線を併用しながら注意喚起していく。

新型コロナウイルス感染症の中でのごみ行政は

問 逗子市、葉山町、鎌倉市のごみ処理広域連携の進捗状況と、コロナ感染症の影響でごみの排出量が増えたようだが、ごみの状況について伺う。

市長 昨年度、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の素案がまとまり、各市町で市民説明などの手続を行って



のどかな風景、逗子海岸

きた。今後は、2市1町の協議会を経て、7月末までに広域化実施計画の確定を行う予定である。

環境都市部長 ご指摘のとおり、緊急事態宣言の発令期間、ごみの収集量は前年同期と比べ、全ての品目が増え、特に不燃ごみ、小型家電、危険有害ごみが増えた。

※この他に、市民の健康行政についての質問がありました。



守るべきは市民の命と生活 子どもの教育そして自治

立憲クラブ 中西 直美 議員

自治が危うい？ スーパーシティ構想

問 5月27日、国家戦略特別区域法の改正案、いわゆるスーパーシティ法案が可決されたが、この法案には利益を追求する民間事業者が加わり、その事業者の公益性とか透明性が担保されていないなどの問題点がある。どのように対応するのか。

市長 スーパーシティ構想は、移動、物流、支払い、行政、医療、介護などの各領域のうち、少なくともも領域以上をカバーし、生活全般にまたがった、まさに未来都市として定義されており、世界でも実現されていない。本市においては、これから情報を集めていくところである。

第2波以降を想定し 急げオンライン教育

問 新型コロナウイルス

の第2波、第3波に対しても学習指導要領にのっとり、今年度中に学習を終わらせるということだが、やはりオンラインで学習自体を進めていかなければならないのではないか。

教育長 現在、第2波、第3波を想定しながら、学校のICT環境の整備に取り組んでおり、教育委員会でもICTや動画配信の在り方などについて研究を行い、早急に対応できるよう計画を進めている。

広まって！命つなぐフードドライブ

問 別冊広報ずしに掲載されたフードドライブは面倒な手続も要らず生活困窮者に対する直接的、スピード感のある、いい支援である。市社会福祉協議会が取り組んでおり、積極的に周知をし困窮者



フードドライブで 食品の支援を！

につなげていくことが必要ではないか。

福祉部長 フードドライブは、フードバンクなどがわと社会福祉協議会が連携し、生活困窮世帯の相談に応じて、必要な世帯に対し食料を渡している。今後も経済状況の悪化に伴い、利用者が増加することが考えられ、支援の必要な方の把握と、食料の寄附や配達など地域の協力者を増やしなが



ソフトとハードの充実で 住みよいまちづくり

市政クラブ 高野 毅 議員

行政の効率化に向け 広域連携を強化

問 人口減少社会を迎え、効率的な行政運営を行うていくことが住民サービスを維持するための最大のテーマである。多くの自治体が行う普遍的な住民サービスにおいて、ごみ処理に限らず自治体間の広域連携は有効であり、他の事業も実施すべきではないか。

市長 市単独よりも広域で行うほうが効率的・効

果的である。現在、横浜市と横浜市に隣接する逗子市、川崎市、横須賀市など7市により、圏域全体の行政サービスの維持向上等を目的に8市連携市長会議を設立し、本市と横浜市との図書館の相互利用提携に向け準備を進めている。

相談体制の構築で 妊活をサポート

問 不妊を心配したことがある夫婦、不妊検査・治療を受けたことがある夫婦は、統計上、年々増加しており、夫婦間で抱えている状況が異なることを考えると、個別に相談できる場所が必要である。妊活をサポートする制度を構築すべきではないか。

市長 現在は、相談があれば保健師が対応しているが、今後、県との連携を強化し、サポート体制

の充実を図っていく。

補助制度の拡充で 安全対策工事を推進

問 市が実施した崖地調査のうち、民有地13か所については費用負担が大きなネックになり、対策工事が進まない可能性がある。例えば、危険性が高い崖地は1年以内に工事を行うことを条件として助成枠を広げるなど、市民の安全確保の観点からサポートし、早期の安全対策を図るべきではないか。

市長 この対策は緊急を要するものであり、工事が高額になることを踏まえ、早急に制度設計を検討していきたい。

※この他に、新型コロナウイルス感染症対策、財政対策、納税方法、逗子海岸についての質問がありました。



新型コロナでストレス増大！ 予防と子ども向き合う教育を

日本共産党逗子市議会議員団 橋爪 明子 議員

少人数学級を導入し 学習と心身のケアを

問 新型コロナウィルスによる長期休校、外出自粛に子どもたちは不安やストレスを感じ、心身のケアをしっかりと行うことは学びを進める上での前提である。授業の遅れを詰め込む教育はすべきではなく、きめ細かな教育ができるよう20人程度の少人数学級に切り替えることはできないか。

教育長 国の法律や学級編制基準があり、教員の定数配置は決まっている。現段階で少人数学級に切り替えることは厳しいが、長期的視点に立った施策を国、県に求めていく。

7割の自治体で実施 準備金の入学前支給

問 文部科学省は、就学援助の入学前支給について速やかに実施できるよ

う交付要綱を改正し、入学前に実施する自治体は平成29年度5.1%から31年度72.8%と大幅に増えた。近隣の鎌倉・横須賀・葉山でも実施しているのに、なぜ逗子市はできないのか。

教育部長 小学校の入学前支給は、2月の保護者説明会での周知、申請、審査、支給決定の現行のスケジュール及び支給後の市外転出の課題などにより入学後としているが、近隣自治体等の取り組みを調査し、可能な範囲で取り組んでいく。

危険な崖地を把握し 計画的に対策すべき

問 毎年、台風や大雨による倒木や崖崩れが発生し、特に近年の集中豪雨で被害が拡大、安全対策は待ったなしの課題である。今回の調査は主要な市道を対象としている

が、調査の対象にならなかった地域の危険な崖地の把握と対策をどのように進めていくのか。

市長 市内には対策が必要な崖が多くあり、市が全てを点検、調査することはできず、市民からの通報で危険箇所を把握し二度と同様の事故が起きないよう準備していく。

※この他に、総合的病院誘致、中学校給食についての質問がありました。



入学準備金の就学前支給



横浜市との相互利用提携へ

令和元年度 議長交際費・政務活動費報告

令和元年度 政務活動費収支報告 (単位：円)

交付金額	4,080,000
支出金額	3,356,429
調査研究費	158,324
研修費	189,670
広報・広聴費	2,070,619
要請・陳情活動費	0
会議費	0
資料作成費	0
資料購入費	235,129
事務所費	702,687
議員・会派負担額	33,666
残額 (返還金額)	757,237

令和元年度議長交際費及び政務活動費の支出状況についてお知らせします。

議長交際費は、議長の交際に係る経費で、令和元年度中の支出の状況は、下表の議長交際費使途別一覧のとおりです。

政務活動費は、市議会議員に必要な経費の一部として議員又は会派に交付する交付金で、議員1人当たり月額2万円が交付されました。令和元年度中の支出の状況は、左表の政務活動費収支報告のとおりです。

なお、議員又は会派別の収支については、政務活動費収支報告一覽(下段の表)のとおりです。

令和元年度 議長交際費使途別一覧

区 分	件数 (件)	金額 (円)
議長賞	1	5,000
総会等の祝金・参加会費等	37	262,200
戦没者追悼式供花代	1	10,000
合 計	39	277,200

支報告一覽(下段の表)のとおりです。

令和元年度 政務活動費収支報告一覽

(単位：円)

議員名 又は会派名	根本 祥子	田幡 智子	田中英一郎	中西 直美	加藤 秀子	高谷 清彦	飯山 圭一	松本 寛	佐藤 恵子	眞下 政次	丸山 治章	八木野太郎	菊池 俊一	日本共産党 選挙区議員	市政クラブ	
														岩室 年治 橋爪 明子	切坂 祐二 高野 毅	
収入	交付金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	480,000	480,000	
支出	調査研究費	0	0	0	0	65,535	0	0	0	0	0	0	0	92,789	0	0
	研修費	0	93,930	43,300	0	1,920	0	0	0	43,880	0	0	0	6,640	0	0
	広報・広聴費	32,700	92,950	74,250	199,741	173,696	25,853	0	103,876	223,073	43,450	144,310	159,627	0	419,963	377,130
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	51,190	19,536	38,268	10,692	0	28,303	0	18,165	2,750	0	1,870	0	0	64,355	0
	事務所費	12,207	2,550	0	1,512	0	186,643	0	129,451	7,384	32,270	103,905	86,147	140,618	0	0
	合 計	96,097	208,966	155,818	211,945	241,151	240,799	0	251,492	233,207	119,600	250,085	245,774	240,047	484,318	377,130
返還金額	143,903	31,034	84,182	28,055	0	0	240,000	0	6,793	120,400	0	0	0	0	102,870	

備考 議員名及び会派名は令和2年3月31日現在

第2回臨時会 5月14・15日

今臨時会の概要

令和2年市議会第2回臨時会は、5月14日及び15日の2日間の会期で開催しました。この臨時会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策による家計への影響を緩和するための支援策として、特別定額給付金給付事業などを内容とする令和2年度一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認、みんなで乗り越える新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定など7議案の審議が行われ、審議の結果、議案7件を原案どおり可決・承認し、閉会しました。

議案の審議結果

▼専決処分の承認について…

承認（全員賛成）

令和元年9月9日、久木8丁目の市有地において、台風第15号により発生した土砂崩落により住宅が損傷したもので、損害賠償額89万9580円で賠償の相手方と示談が成立し、専決処分を行ったため、議会の承認を求めたものです。

▼専決処分の承認について…

承認（全員賛成）

令和2年度一般会計補正予算（第1号）は、特別定額給付金給付事業、学校運営事業及び緑地維持管理事業について、予算措置に緊急を要し専決処分を行ったため、議会の

承認を求めたものです。具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策による家計への影響を緩和するための支援策として、給付対象者一人につき10万円を給付するために要する経費として特別定額給付金給付事業60億1452万8000円を計上し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策による小中学校の臨時休業中の学習課題等を児童・生徒に郵送する経費として学校運営事業134万円を増額するなど、歳出の合計は60億1710万9000円の増額となり、これに見合う歳入は国庫支出金、繰入金及び繰越金を増額して措置するもので、これにより予算現額は252億

7610万9000円となります。

▼みんなで乗り越える新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について…原案可決（賛成多数）

新型コロナウイルス感染症のまん延により市民生活及び地域経済に甚大な影響を及ぼしている状況に鑑み、これに対する感染症予防対策、地域経済対策等の経費に充てるため、新たに基金を設置するに当たり、提案されたものです。

▼市税条例の一部改正について…原案可決（全員賛成）

地方税法等の一部を改正する法律が令和2年4月30日に施行され、特定の家屋及び構築物に係る固定資産税の課税

標準の特例措置の割合を規定するに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼国民健康保険条例の一部改正について…原案可決（全員賛成）

国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症に感染するなど、労務に服することができない被用者に傷病手当金を支給する市町村に対し支給額全額について、国が特例的な財政支援を行うことを受け、感染拡大防止の観点から傷病手当金を支給するに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼令和2年度一般会計補正予算（第2号）…原案可決（全員賛成）

今回の補正は、感染症予防対策、地域経済対策等に要する経費の積立金として、みんなで乗り越える新型コロナウイルス感染症対策基金積立金3億7265万8000円、神奈川県緊急事態措置の協力要請に際し、又は売上等が減少するなど一定の条件を満たした中小企業及び個人事業主に対する支援に要する経費として、新型コロナウイルス

市議会第2回臨時会日程概要

5月12日	議会運営委員会（議事日程等協議）
14日	本会議（第1日）会期を5月14日及び15日の2日間と決定、一部議案の採決、議案の委員会付託 教育民生常任委員会（議案の審査・採決） 総務常任委員会（議案の審査・採決）
15日	本会議（第2日）議案の委員長報告・採決

対策中小企業者等給付金支給事業2億21万8000円をそれぞれ計上し、休業等に伴う収入減少により住居を失う恐れが生じている者に対する家賃相当の給付に要する経費として、国庫補助事業分及び市の上乗せ分の計1547万7000円を生活困窮者自立支援事業に増額するなど、歳出の合計は6億7587万2000円の増額となり、これに見合う歳入は国庫支出金、繰入金、繰越金及び市債を増額して措置するもので、これにより予算現額は259億5198万1000円となります。

第2回定例会の議案等の賛否状況一覧

会 派 名	件 名	付託委員会	議決結果	自民党逗子市議団		立憲クラブ		公明党		日本共産党		市政クラブ		真・無所属の会		無党派		
				丸山治章	佐藤恵子	眞下政次	八木野太郎	菊池俊一	中西直美	加藤秀子	高谷清彦	田幡智子	田中英一郎	岩室年治	橋爪明子	句坂祐二	高野毅	飯山圭一
市長提出議案																		
	専決処分承認について[逗子市国民健康保険条例の一部を改正する条例]	—	承認	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について[逗子市防災行政無線デジタル化整備工事]	総	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	逗子市介護保険条例の一部改正について	—	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	逗子市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	—	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度逗子市一般会計補正予算(第3号)	総教	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和2年度逗子市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	教	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新型コロナウイルス感染症流行下における逗子海岸のマナーの向上に関する条例の制定について	総	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情報公開審査委員の委嘱について	—	同意	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	個人情報保護委員の委嘱について	—	同意	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出意見書案																		
	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を図るための2021年度政府予算についての意見書	—	可決	*	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	学校教育における新型コロナウイルス感染症対策充実に向けた財政支援の拡充に関する意見書	—	可決	*	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	在日米軍基地の新型コロナウイルス感染症に係る感染者情報公表と感染防止対策の強化を求める意見書	—	可決	*	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	夏期の逗子海岸の安全確保と新型コロナウイルス感染症対策を求める意見書	—	可決	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
※ 付託委員会：総…総務常任委員会 教…教育民生常任委員会 —…委員会付託を省略 ※ 賛否状況：○…賛成 ×…反対 * 丸山議長は、採決に加わらない。 ※ 日本共産党：日本共産党逗子市議会議員団の略																		

**今定例会で結論
が出なかった陳情**

次の陳情は、今定例会で結論が出なかったため、閉会中継続審査となりました。
 ▼市民が望む総合的病院の実現に関する陳情
 ▼総合的病院・市民が真に必要とする医療を求める陳情



お猿島の大切岸（おさるばたけのおおきりぎし）

法性寺（逗子市久木）のある山腹に、城壁のような遺構「大切岸」があり、この辺り一帯は、お猿島と呼ばれ、松葉ヶ谷法難の際に3匹の白猿が日蓮を案内したという伝説が残されています。平成十四年に本格的な発掘調査が行われ、大規模な石切り場の跡だということがわかりました。

令和2年第3回定例会

9月3日(木) 第3回定例会招集



声の議会報のご案内

視覚に障がいのある方のために、声の議会報として「ずし市議会だより」のCDを用意しています。
 お気軽にご利用ください。
 ご希望の方は、議会事務局へ。

内線405